

奇跡的に撮影成功！ イリオモテヤマネコ

西表島に行く前、参加希望者の面接をした時、1年のヒロナオは「僕は運が良いんでイリオモテヤマネコ見れると思います」と言ってきた。漫画だったら「ドーンッ」という効果音が背景に書かれてそう。そんなことを自信満々に言ってきた生徒は初めてだ。面白い奴だなあ。その時はそのぐらいにしか思っていなかったが、これが大きな伏線になろうとは…。

西表島研修では、学校からトレイルカメラを持参して琉球大の演習林に設置させてもらっている（もちろん許可を得て）。去年からこの試みを始めたのだが、去年は全機まったく何も写っていないという惨敗で終わった。なんならちゃんと起動していないカメラもあり、付け焼き刃のなんちゃって調査ではてんでダメだと反省した。

今年は出発前に校庭で試運転をしたり画質や感度などの設定を工夫した。そして西表島初日、琉大の渡辺先生に「自分たちで考えて設置してみな」と丸投げされ、動物が通りそうな場所を厳選し4機設置した。「ここに獣道がある」ソウスケがそう言うポイントにももちろん設置。去年は設置しなかった湿地にも仕掛けてみた。あとは回収を待つだけ。何か写ったら良いなあと思いつつも去年のことがありあまり期待しないようにしていた。

最終日、回収したカメラを確認する。まずは1機目。ソウスケチョイスの獣道に設置したものだ。「え待って！イノシシ写ってる！しかも超はっきり！！」まさかの1つ目から大成功！さらに、「うお！こっちのにもイノシシ！」2機目を見ていたクウトからも歓声が。なんだどうなってるんだ、今年はすごいぞ！そして…「ん？これって…ネコ？！え？！えー！！ヤマネコ写ってる！！！」その声にその場が騒然となる。湿地に仕掛けたカメラに、なんと写ってしまったのだイリオモテヤマネコが！こんな上手くいくことがあるのか？！ひとしきり喜び合ったあと、思い出したのはヒロナオのことだ。「お前本当に運が強すぎるな！」じつはぼくは10回以上西表島に行っているのに一度もヤマネコを見たことがなかった。ヒロナオを胸上げしてやりたくなった。

イリオモテヤマネコは狙って見つけれられるものなのか、ガイドの堀井さんに聞いてみたことがある。「夜に車で道路を走り続けていればたまに見えます。ただ運転してるだけなんで、あんまり楽しくはないですよ」とのこと。今回の場合は、自分たちで試行錯誤してポイントを吟味した上で見事撮影に成功した。たまたま道路脇で遭遇したってそりゃ嬉しいと思うが、それとはまた違った達成感のある嬉しい出会い方だったと思う。

参考：岡村 麻生（監修）・村田行（写真）、2026、イリオモテヤマネコハンドブック、野生動物サポートブック結



野生生物保護センターに展示されていた「イリオモテヤマネコの特徴」
耳の後ろが白く、尾が太い。



奥を向いている後ろ姿
耳の後ろが明らかに白い。後頭部に縞模様も見える。



トレイルカメラに写ったイリオモテヤマネコ（動画の切り抜き画像）*Prionailurus bengalensis iriomotensis* 7/28 19:38
右側を見て横を向いている画像。白い点が右目。正直、夜間は白黒映像だし動画からの切り抜き画像だといまいちな写りだと思うが、動画で見るとよりはっきりとネコであることが分かる。西表野生生物保護センターに見てもらったところ、「丸い耳先、額の縦縞模様、耳の後ろにある白い斑点（虎耳状斑）などの特徴から、イリオモテヤマネコである可能性が非常に高い」と自然保護官（レンジャー）からお墨付きをもらった。イリオモテヤマネコは世界で西表島のみに生息し、推定個体数約100頭。西表島で最も有名な動物だ。環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠA類。国指定特別天然記念物。



湿地にカメラを設置
赤外線センサーにより、動くものを自動撮影する。



獣道を通るリュウキュウイノシシ
こんなにカメラの近くを通ってくるとは！



リュウキュウイノシシの幼獣（ウリボー）
今回、合計24個の動画にイノシシが写り込んでいた。



リュウキュウキンバト
国指定天然記念物。右の写真は別日に道路を歩いていたもの。